

春を告げる可憐なスズラン

九州電力生物資源研究センター

ヨーロッパでは「5月の小さな鈴」などと呼ばれる、春を告げる花・スズランが、今年も2月上旬に九州電力生物資源研究センター前原分場で小さな花をつけ始めました。

このスズランは、昭和39年から電熱温床（ハウス）で栽培され、九州電力の支社とおして、福祉施設や学校などに配布されています。

スズランの球根は、新潟県の生産農家などから仕入れ、3100鉢を栽培。ハウスの中には、一足早い春の香りでいっぱいでした。



花は、温度管理が良ければ3週間はきれいに咲き続ける

水素研究の公開セミナー開催

水素エネルギー製品研究試験センター

2月3日、九州大学伊都キャンパスで「水素先端世界フォーラム2010」が行われ、これに合わせ、水素エネルギー製品研究試験センターで公開セミナーが開催されました。

会場には、国内外の水素研究者およそ50人が参加し、県内企業の研究成果発表や水素部品破壊の解析発表などが行われました。

最後に施設見学も行われ、参加者たちは、施設職員に最先端の水素実験や設備などについて熱心に質問をしていました。



高圧の耐久実験を行う装置の説明をする施設職員

林業体験で人間力を育む

いとしま森の学校で、森に学ぶ

いとひとネットは2月5日と6日の2日間、いとしま森の学校を開催。市内外から30人が参加し、間伐や木工体験を行いました。

初日は、雷山の市有林でオリエンテーションを行い、林分調査や間伐を体験。チェーンソーを使って、実際に木を倒したり、玉切りや木材の運び出しなどを体験しました。

2日目は、ファームパーク伊都国のトンカチ館で製材を行い、間伐材を使つての椅子作りなどにも挑戦しました。



チェーンソーの使い方を教えてもらう参加者

丸田池公園に植木がズラリ

都市緑化フェア糸島植木まつり

まちを緑に……2月5日から20日まで、丸田池公園で糸島植木まつりが開催されました。開会の初日は、市にツツジの苗木1000本が贈呈され、来場者に配布されました。

会場には、マキや松などの大きな植木から、ジンチョウゲやセンリョウなどの小さな花木まで、所狭しと並べられました。

庭木の管理や庭づくりなどについて、熱心に聞く人の姿も見られ、アドバイスを受けながら好みの植木を購入していました。



来場者にツツジが無料で配布された

合唱でつながる市民交流

伊都の国合唱交流会

2月6日、市内8団体が参加し、前原公民館で伊都の国合唱交流会が開催されました。この催しは、市内の合唱団の交流を目的に、毎年開催され、今年で15回目となります。

この日は、出演者など約150人が会場を埋め、女声や男声、子ども合唱団が、懐かしい童謡や賛美歌など、歌声を披露しました。

また、九州大学からも合唱サークルが参加し、力強い歌声に、会場からは盛んな拍手が送られました。



全員合唱をして、歌を楽しむ会場